

事業概要一覧表

No.	事業番号	090-003	事務事業名	消防団一般管理	所管局	消防局	所管課	総務課	分類	C 内部管理事業	
1	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上				ターゲット	11.5,11.b			
	取組の方向性	⑤地域防災力の向上			主な取組		「自助」「共助」「公助」の役割分担に基づく災害対策の推進				
	事業内容			投入量 (単位:千円)				費用対効果 (事業の効率性) に係る所見			
	○消防団・災害活動支援隊の施設及び人員を活用して、市民の生命、身体、財産を火災から保護するとともに災害を防除し、被害を軽減する。			事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	公設消防隊だけでは対応できない災害対応に備え、消防団や災害活動支援隊を創設し事業の実施を行っている。火災予防啓発広報や新型コロナウイルス感染拡大防止広報活動においては、最少人数にて、最大効果を発揮できるように機材を活用し、また事務においては、ペーパーレスや貸与品の価格調整などを実施し、消防力は維持したままコスト削減を図っている。		
				うち一般財源		10,724	9,839	18,888			
				主な 内 訳	消防団員報酬等	7,434	6,603	12,146			
					物品等購入・維持費	2,011	2,151	4,889			
					負担金	797	795	798			
					その他(役務費、 使用料及び賃借料)	482	290	1,055			
人件費(b)				8,200	8,200	8,100					
年間経費(c)=(a)+(b)		18,924	18,039	26,988							
No.	事業番号	090-004	事務事業名	消防庁舎等改修事業	所管局	消防局	所管課	総務課	分類	D 建設・整備事業	
2	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7			
	取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進			主な取組		公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進				
	事業内容			投入量 (単位:千円)				費用対効果 (事業の効率性) に係る所見			
	○消防庁舎建設・改修基本計画に基づく庁舎改修等 ○建築都市局建築部建築監理課の施設点検調査結果において要修理と判断されたものについての改修 ○令和4年度実績 ・消防局受水槽ほか改修工事 ・令和5年度以降実施予定工事の設計			事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	消防施設として必要不可欠なものであるため、大規模改修が短期間に集中することのないよう中長期的な庁舎の改修計画を定めており、修繕の重複をなくすことでコストを縮減し、効率的な維持管理が実施できるよう事業を行っている。 令和4年度は改修等工事の実績が少なかったことから事業費が減少した。		
				うち一般財源		130,517	50,987	30,711			
				主な 内 訳	施設等修繕料	15,238	18,287	12,978			
					改修等工事	103,329	30,664	4,900			
					設計工事監理委託	11,928	2,036	12,500			
					その他	22	0	333			
人件費(b)				12,300	12,300	12,150					
年間経費(c)=(a)+(b)		142,817	63,287	42,861							

事業概要一覧表

No.	事業番号	090-005	事務事業名	消防署所等施設整備事業	所管局	消防局	所管課	総務課	分類	D 建設・整備事業		
3	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7				
	取組の方向性	①計画的な長寿化の推進			主な取組		公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進					
	事業内容					投入量 (単位：千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見			
	<p>○管内情勢に応じた総合的・効果的な消防施設及び中期的計画を策定し、それに基づき適正な消防署所の配置、新設、建替え、改修等を行う。</p> <p>○令和4年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・堺消防署移転整備事業に伴う旧下水道SC改修工事</li> </ul>					事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	<p>災害等における防災拠点として有効に機能させるため、消防庁舎建設・改修基本計画に基づき、耐用年数50年を超える消防施設等の中から優先度の高い消防施設について、建替等に必要となる建築工事及び工事監理業務を実施する。</p> <p>防災拠点としての機能を最大限に発揮することができる消防庁舎の建設を行うことで、災害対応能力の向上につながる。</p> <p>令和4年度は主に堺消防署移転整備事業に伴う工事請負費が増加したことより事業費が増加した。</p>	
						うち一般財源		48,138	427,677	488,105		
						主な内訳	報酬・負担金		48,138	119,428		84,905
							委託料		0	3,281		0
							使用料及び賃借料		40,316	0		30,956
							需用費・役務費		7,566	12,267		13,248
工事請負費							256	1,429	101			
人件費(b)		0	410,700	443,800								
年間経費(c) = (a)+(b)		12,300	12,300	12,150								
		60,438	439,977	500,255								
No.	事業番号	090-006	事務事業名	消防庁舎維持管理事業	所管局	消防局	所管課	総務課	分類	D 建設・整備事業		
4	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上				ターゲット	11.5,11.b				
	取組の方向性	①危機対応力の強化			主な取組		「自助」「共助」「公助」の役割分担に基づく災害対策の推進					
	事業内容					投入量 (単位：千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見			
	<p>○消防庁舎について、保守点検等委託業務を実施</p> <p>○令和4年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防庁舎清掃業務 (21施設)</li> <li>・冷暖房設備保守点検業務 (22施設)</li> <li>・自家発電設備保守点検業務 (21施設)</li> <li>・その他の庁舎設備保守点検業務</li> </ul> <p>○消防車両等 (消防艇含む) 及び消防資機材について、車検・点検など、適宜修理を実施</p>					事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	<p>例年実施している業務委託や各種資器材点検について、仕様の見直し等を行いながら事業を実施している。令和4年度は、一部庁舎で不衛生とならない範囲で、日常清掃の回数を減らすことによりコスト削減を図ったが、総合防災センターの開設に伴い、維持管理委託料は増加した。今後も市民・職員の衛生環境を確保しながら、引続き費用対効果の観点から最適な庁舎管理となるよう努める。</p>	
						うち一般財源		334,721	433,771	462,147		
						主な内訳	電気使用料		262,154	354,075		379,825
							水道使用料		72,490	102,002		151,863
							施設・物品等修繕料		30,086	29,405		33,926
							維持管理委託料		113,287	133,009		106,665
その他							57,367	88,024	99,690			
人件費(b)		61,491	81,331	70,003								
年間経費(c) = (a)+(b)		12,300	12,300	12,150								
		347,021	446,071	474,297								

事業概要一覧表

No.	事業番号	090-010	事務事業名	消防局安全衛生健康管理事業	所管局	消防局	所管課	人事課	分類	C 内部管理事業	
5	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上				ターゲット	11.5,11.b			
		取組の方向性	①危機対応力の強化				主な取組	「自助」「共助」「公助」の役割分担に基づく災害対策の推進			
	事業内容			投入量 (単位:千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
	○労働安全衛生法に基づく安全衛生管理体制の整備充実 ○健康診断等の健康管理及び感染予防対策にかかる経費の支出			事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	職員における安全衛生管理体制の重点項目として、職員の健康管理と衛生管理に取り組んだ結果 ・医療機関への至急受診率及び受診勧奨の返信率向上 (R4年度:至急受信100%、受診勧奨92%) ・喫煙率の低下(R1年度34.8%、R2年度24.9%、R3年度25.2%、R4年度25.5%)R3年度から喫煙率が増加傾向にあり、R3年度は消防事務委託に伴い職員が増加したことが1つの要因であると考え、R4年度については原因がわからない状況にある。 よって引き続き取り組みを継続する。 これらの取り組みにより、安全安心の職場づくりに繋がっている。		
				うち一般財源		10,608	10,900	11,971			
				主な内訳	健康診断料	9,758	9,940	10,292			
					ワクチン予防接種手数料	792	832	1,434			
					包布等クリーニング手数料	44	114	231			
					診断書取得費	14	14	14			
人件費(b)					2,460	2,460	2,460				
年間経費(c)=(a)+(b)				13,068	13,360	14,431					
No.	事業番号	090-011	事務事業名	消防局職員研修事業	所管局	消防局	所管課	人事課	分類	C 内部管理事業	
6	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上				ターゲット	11.5,11.b			
		取組の方向性	①危機対応力の強化				主な取組	「自助」「共助」「公助」の役割分担に基づく災害対策の推進			
	事業内容			投入量 (単位:千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
	○消防庁に置かれる教育訓練機関等への職員研修派遣 ○職員の資格取得にかかる経費の支出 ○外部講師による委託研修にかかる経費の支出 【令和4年度実績】 ・消防大学校：専科教育 ・大阪府立消防学校：初任教育・専科教育・幹部教育・特別教育 ・大型自動車運転免許取得講習 ・その他			事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	各部門の業務が高度化し、より専門的な知識・技術の習得が求められていることから、役職や経験年数に応じ、各種教育機関等への派遣を計画的に実施している。 また、派遣後においては、身に付けた知識や技術を他の職員へフィードバックする機会を設けるなど、指導者育成においても強化し効率的な人材育成を行っている。 なお、費用削減を目的として、職員研修を自主参加型に変更し、受講に伴う時間外手当削減に取り組むとともに、オンライン研修を推進することで、移動に伴う旅費や燃料費の削減にも努めている。		
				うち一般財源		19,554	16,307	25,952			
				主な内訳	研修参加負担金	11,479	8,616	18,437			
					研修旅費	4,007	3,733	6,130			
					研修委託料	3,605	3,546	805			
					研修役務費	282	327	338			
使用料及び賃借料					181	85	242				
人件費(b)				2,460	2,460	2,460					
年間経費(c)=(a)+(b)		22,014	18,767	28,412							

事業概要一覧表

No.	事業番号	090-014	事務事業名	消防水利整備事業	所管局	消防局	所管課	警防課	分類	D 建設・整備事業	
7	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ~Resilient~			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7			
	取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進			主な取組		公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進				
	事業内容			投入量 (単位:千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
7	既存の公設防火水槽のうち、耐用年数50年を経過した経年防火水槽を対象に、老朽化対策として耐震補強工事や劣化状況に応じた耐震補強を行うための調査設計業務を実施している。 また、上記に加えて、令和5年度からは簡易耐震（保水性確保）工事を年4基実施予定。 ・令和4年度実績 工事0基、調査設計2基、修繕3基			事業費(a)	27,790	6,982	50,700	既存の構造体を利用し、耐震化や保水性向上のための改修工事を実施するなど、効率的かつ効果的な老朽化対策を講じ、大規模災害発生時に備えている。令和4年度については、予定していた耐震補強工事が不要となったため、決算額が減少した。			
				うち一般財源	11,990	682	700				
				主な内訳	防火水槽新規設置	0	0		0		
					経年防火水槽老朽化対策	27,475	6,368		50,000		
					施設等修繕等	315	614		700		
				人件費(b)	24,600	24,600	24,300				
年間経費(c)=(a)+(b)	52,390	31,582	75,000								
No.	事業番号	090-031	事務事業名	(仮称)新金岡複合公共施設整備事業(消防局)	所管局	消防局	所管課	総務課	分類	D 建設・整備事業	
8	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ~Resilient~			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7			
	取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進			主な取組		公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進				
	事業内容			投入量 (単位:千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
8	施設・設備の老朽化や耐震性能についての課題解決及び活用用地を利用して、新金岡地区の安心安全拠点の形成を行うことを目的として、北消防署、北部地域整備事務所、衛生研究所の各機能を設置した(仮称)新金岡複合公共施設を整備する。			事業費(a)	0	949,660	2,494	移転予定の北消防署、北部地域整備事務所、衛生研究所の跡地の資産価値について、府有地の資産価値と同等又はそれ以上のものと想定している。 また、3施設の複合化により、設計、工事費用の縮減が図られ、現地建替を想定していた北消防署の仮設整備費用の削減となる。			
				うち一般財源	0	0	894				
				主な内訳	公有財産購入費	0	949,660		0		
					報酬	0	0		123		
					需用費	0	0		12		
					委託料	0	0		2,359		
				人件費(b)							
年間経費(c)=(a)+(b)	0	949,660	2,494								